さざなみ

須崎市教育研究所　発行
令和５年 11 月 10 日

共同編集

最近よく「単元構想表」という言葉をよく耳にしますが、皆さんもう作成しているのでしょうか。何でも、全学年・全単元・全授業の「付けたい力」「目指す子どもたちの姿」「学習活動」「めあて」等を一覧で分かる形にするように言われているとか。既にそれぞれの先生方が、それぞれの手に馴染んだやり方で授業準備をされていると思いますので、いくら「それをこの様式に落とし込めばいいだけ」と言われても、その落とし込む時間はかなり負担になるのではないかと思います。そこで、どうせやらなければいけないことなのであれば、ＩＣＴを活用して少しでも負担を減らすことができないだろうかと考えました。

【案】

Googleの
スプレッドシートで
型を作成

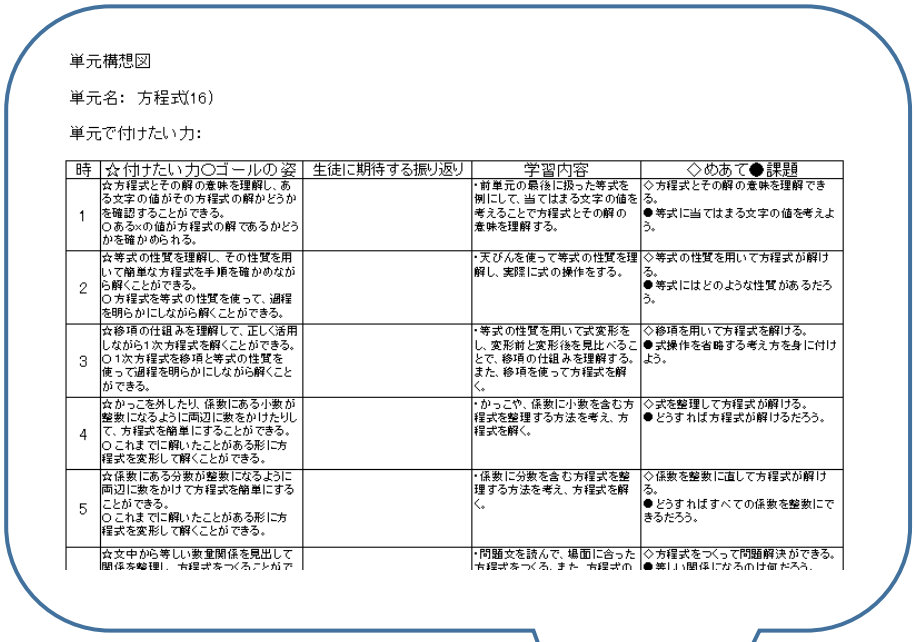
→ 校内・市内の
同じ教科の先生で
共有

→ 基本となる部分を
「共同編集」

→ コピーしたものを
各校の実情に応じて
編集

私が作成している様式は右に示したようなものになります。

学年や教科の担当者が１人のみの場合、特に負担が大きくなるのではないかと思います。市内の先生方で共有し、使える部分は活用して参考にしながら、自分の学校に合ったものに作り替えていくという活用方法にすれば、負担を軽減しながら作成することも可能かもしれません。また、他の先生のやり方を知る良い機会にもなると考えます。是非近隣の学校で誘い合って実施してみてはいかがでしょうか。



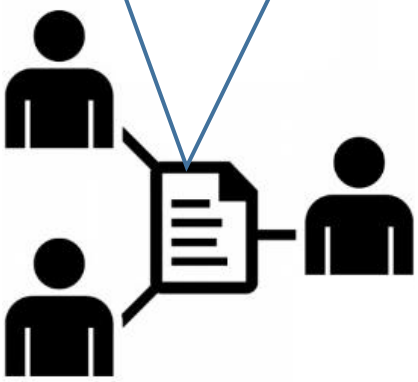
単元構想図

単元名：方程式(16)

単元で付けたい力：

時	☆付けたい力〇ゴールの姿	生徒に期待する振り返り	学習内容	◇めあて●課題
1	☆方程式とその解の意味を理解し、ある文字の値がその方程式の解かどうかを確認することができる。 〇ある×の値が方程式の解であるかどうかを確かめられる。		・前単元の最後に扱った等式を例にして、当てはまる文字の値を考えることで方程式とその解の意味を理解する。	◇方程式とその解の意味を理解できる。 ●等式に当てはまる文字の値を考えよう。
2	☆等式の性質を理解し、その性質を用いて簡単な方程式を手順を確かめながら解くことができる。 〇方程式を等式の性質を使って、過程を明らかにしながら解くことができる。		・天びんを使って等式の性質を理解し、実際に式の操作をする。	◇等式の性質を用いて方程式が解ける。 ●等式にはどのような性質があるだろう。
3	☆移項の仕組みを理解して、正しく活用しながら1次方程式を解くことができる。 〇１次方程式を移項と等式の性質を使って過程を明らかにしながら解くことができる。		・等式の性質を用いて式変形をし、変形前と変形後を見比べることで、移項の仕組みを理解する。また、移項を使って方程式を解く。	◇移項を用いて方程式を解ける。 ●式操作を省略する考え方を身に付けよう。
4	☆かっこを外したり、係数にある小数が整数になるように両辺に数をかけたりして、方程式を簡単にすることができる。 〇これまでに解いたことがある形に方程式を変形して解くことができる。		・かっこや、係数に小数を含む方程式を整理する方法を考え、方程式を解く。	◇式を整理して方程式が解ける。 ●どうすれば方程式が解けるだろう。
5	☆係数にある分数が整数になるように両辺に数をかけて方程式を簡単にすることができる。 〇これまでに解いたことがある形に方程式を変形して解くことができる。		・係数に分数を含む方程式を整理する方法を考え、方程式を解く。	◇係数を整数に直して方程式が解ける。 ●どうすればすべての係数を整数にできるだろう。
	☆文中から等しい数量関係を見出して関係を整理し、方程式をつくることができ		・問題文を読んで、場面に合った方程式をつくる。また、方程式の	◇方程式をつくって問題解決ができる。 ●等しい関係になるのは何だろう。

このように、１つのデータを、場所を問わずに一緒に編集することができる「共同編集」。これは生徒が学習のまとめを Google スライドで作成したり、調査したデータを協働してスプレッドシートにまとめたり、原稿や資料の担当する部分を同時にドキュメントで編集したりする際にも活用できます。



【具体的な共有方法】

パターンⅠ

① 編集しているページの右上「共有」をクリック

② 「ユーザーやグループを追加」に共同編集したい人のＩＤを入力し、候補に挙がったものを選択

③ 権限を「編集者」にして「送信」をクリック

パターンⅡ

① 編集しているページの右上「共有」をクリック

② 一般的なアクセスを「高知県教育委員会」もしくは「リンクを知っている人全員」にしておく

③ 左下の「リンクをコピー」をクリック（これでＵＲＬがコピーされた状態です）

④ コピーしたリンクＵＲＬをクラスルームやロイロノートなどで共同編集したい人と共有する

コメント機能を使ってやり取りをしつつ編集することで、役割分担をしながらの編集も可能になると思います。なお、教員同士であれば「チャット機能」も使えるようです。ぜひ有効活用してください。

選書会

中学校の選書会の様子です。欲しい本を選んだ後は、他の気になる本を見つけて座り込んで読んでいました。生徒だけでなく教員も本に没入し、読書する姿を示してくださっているのが素敵だなぁと思いました。

私は中学生という多感な時期に、様々な考え方や価値観に触れることは非常に大事だと考えます。しかし、関わる人数が少なかったり人と関わるのが苦手だったりする生徒もいると思います。そこで有効なのが読書ではないでしょうか。本を読むことで、自分とは違う考えをもった「書き手」の考えに触れることができます。時には自分の生き方のモデルとしたい作者（筆者）、あるいは登場人物に出会えるかもしれません。

先生方の好きな本は何ですか？

参考

ビブリオバトル：自分が読んで面白いと思った本を紹介し，参加者全員でディスカッションするゲーム。参加者全員の本の紹介とディスカッションが終わった後，一番読みたいと思った本を投票で決めます。

本の紹介は５分と決められており、それを超えることはありません。YouTube で「全国中学(高校)ビブリオバトル」と調べると、ビブリオバトルの全国大会の様子を見ることができます。子どもたちが新しい本と出会うきっかけにもなると思いますので、興味がある先生はぜひご視聴いただき、子どもたちにも紹介していただけたらと思います。